

昨年晩秋、国立市公民館を訪ねた。駅を降りて商店街を歩き、住宅街へと変わるあたりにそれはあった。正面玄関を入るとすぐ左手に小さなカウンターの喫茶コーナーが目についた。

残念ながら訪ねた日は日曜日の昼前で喫茶は準備中だった。その奥にはドアがあり「青年室」の札がかかっている、中では、スタッフが何やら打ち合わせをしていた。国立市公民館が取り組んで来た、障害者や生きづらさを抱えた若者

とともに働き、学び、遊ぶ居場所づくりの現場である「喫茶わいがや」と「青年室」なのだ。今回の訪問の目的のひとつは、この「たまり場」の実際を見てみたかったことである。

帰りがけに、職員の方から「くにたち公民館六〇周年記念誌」を頂いた。一九五五年の開館とある。さっかけは、隣の立川にあった米軍基地がまちの環境に及ぼす



悪影響に危機感を持った住民たちの「まちの浄化運動」だったとある。当時の住民の学習意欲と自分たちの町は自分たちの力でという熱意が感じられた。

昭島市でも、時代背景や地域課題は異なるものの、公民館の開館を求める熱心な住民運動があつて開館が実現したと聞いている。時は流れ、公民館を取り巻く状況も変化してきた。しかし、学ぶ意欲や、つながる楽しさを求める市民は決して減ってはいないと思う。

では、今の昭島市公民館は果たしてその市民ニーズに答えられているだろうか。

公民館運営審議会委員の委嘱を受けて二期目となる。前期では「市民が集う公民館主催事業のあり方について」という公民館長の諮問を受けて答申をまとめた。市民を大きく「子どもと子育て世代」「若者世代」「高齢者」の3グループに分け、それぞれの世代の抱える課題を出し合い、公民館に

きることを討論してきた。その結果、少々欲張った答申内容になってしまった。すべての項目をすぐに実行することは難しいが、できるところから少しずつ実現できるように、委員の一人として努力したいと思う。

公民館運営審議会委員  
小川 千鶴子

**公民館運営審議会  
活動報告**

公民館運営審議会は毎月1回午後7時から開催しています。11月と12月の主な内容についてお知らせします。

**◆11月11日(金)**

東京都公民館連絡協議会委員部会担当委員より、来年行われる公民館研究大会の担当分科会についての説明がありました。事務局から今年度実施した講座などの報告書が配布されたほか、これから実施される事業について説明がありました。小ホール特例的利用について申請があつた団体の審査を行いました。

また、最後に公民館に関するビデオなどを視聴し、内部研修を行いました。

**◆12月9日(金)**

2月実施の市社会教育関係委員研修会について説明があつたほか、主催事業についてチラシなどが配付されました。また、定例会終了後、懇談会を行いました。

公民館利用者連絡会  
けいじばん

第四回「公民館まつり」を実施いたします。

この2月18・19日の土日にかけて「公民館まつり」が開かれます。

小ホールを始め、公民館の全施設を使って催しを企画しています。

小ホールでは、ギター・マンダリンの演奏やフラダンス等、ギャラリー展示コーナーでは、子どもや大人の体験コーナー、そしてお昼は、「拝島ネギ」を使った「ネギ丼」提供などです。

また、今年から「カラオケ上達法」の企画も織り込まれました。

また、18日(土)の午後からは、オープニング企画として、講演と意見発表のパネル討論「公民館・イロハ」で公民館の役割とは何かを学びあります。

参加協力券のお求めも！  
この「まつり」は、公利連の自主企画のイベントです。運営のための参加協力券を発行しています。一枚・五〇〇円で二〇〇円券五枚綴りです。「ネギ丼」や「うたごえ喫茶」などにご利用できます。

公利連へのご参加を！  
なお、まだ公民館利用者連絡会に参加されていない団体やサークルをご存知でしたら参加方を呼び掛けていただければ幸いです。

(代表・山崎)

**集会室(視聴覚室)の扉を交換しました**

3階集会室の出入り口の扉の開け閉めに、不便をおかけしていましたが、新しい扉に交換しました。

集会室は、ビデオプロジェクト・ピアノ・ホワイトボード・ラック組み込み式音響映像機器(ビデオ・DVD・CD・LD・カセット・ビデオマイク)があります。定員は60人です。